

第10回 国際コンテナ戦略港湾検討委員会 議事概要

日時：平成24年6月5日（火）13：00～14：30

場所：中央合同庁舎3号館 4階幹部コーナールーム

○阪神港（神戸港埠頭株式会社、大阪港埠頭株式会社ほか）より港湾運営会社指定申請に向けた検討・準備状況について説明を行った。

○委員からは、下記のような意見があった。

- ・情勢の変化に応じ、スピード感をもった対応をすべきである。
- ・神戸港と大阪港の役割分担を明確にすべきである。
- ・荷主を意識した営業活動がなされるべきである。
- ・戦略性を持った経営が推進されるべきである。
- ・インランドデポの活用を検討すべきである。
- ・無駄なコストの削減は必要であるが、荷役の信頼性などサービスの質を向上させることも重要である。

○阪神港における検討状況について、以下のとりまとめがなされた。

- ・神戸、大阪両港の特例港湾運営会社に関する組織、民間出資、ターミナル一体運営、集荷策等運営計画の骨格については国際コンテナ戦略港湾選定時の計画内容等を概ね踏まえており、今後手続きを進め一層の検討を進めることが適切な段階にあると確認できた。
- ・今後、運営計画内容の更なる検討を進めた上で、神戸、大阪両港の特例港湾運営会社が早期に指定され、事業を開始することで効率的な港湾運営が推進されるよう関係者の努力を期待する。

○京浜港に関して、以下のとおり扱うこととした。

- ・京浜港については、関係者の努力により運営計画の骨格が申請可能な熟度に達した段階で次回の委員会を開催し確認する。

以上